

2025 年度 津田塾大学 卒業生に関する企業等へのアンケート 報告書

2025/9

学生生活課作成

調査概要

1) 目的

卒業生が社会で活躍できるよう大学の教育の質の向上のため、卒業生が在学中に身につける学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らして、教育の成果や効果を検証する

2) ヒアリング対象企業

- ・ 卒業生が在籍している
- ・ 大学との関係性が濃い

3) ヒアリング方法

- ・ 電話、オンライン、メール

4) ヒアリング実施企業

- ・ IT・製造業 1 社
- ・ コンサルティング 1 社
- 上記業界の採用に関わる社員

5) ヒアリング内容

【1】 在籍している卒業生、採用活動で接触のあった在学生の様子から身に備わっていると
感じる事

【2】 大学生活で見つけたほうがよい力・能力

調査回答

【1】 身に備わっていること

- ・ 幅広い知識・教養
- ・ 所属学部・学科・専攻の専門科目の学習
- ・ 外国語運用能力
- ・ 社会の課題を自らの課題として捉えられる課題発見力
- ・ 数字やデータに基づいて物事を考える
- ・ 自分の意見を論理的に相手にわかりやすく伝える
- ・ 適切な日本語を用いて論理的に文書を作成する
- ・ 異文化や異なる背景を有する人々に対する理解力
- ・ 円満な人間関係を築いたり調整する
- ・ 目標を設定し、計画的に実行すること
- ・ 目的に向かって集団の中でリーダーシップを発揮することができる
- ・ 責任感を持ってやり遂げる力
- ・ PC の操作、情報ツールを用いる力

- ・ 未知の問題に柔軟に対応する力
- ・ 新しいことを学び続ける力

【2】大学生活で見つけたほうがよい力・能力

・ 大学で学ぶすべてのことを、単なる「学問」として捉えるのではなく、それが社会のどんな課題や仕組みに関係しているのか、そして自分がそれをどう活かして貢献できるのかを、ぜひ意識して学んでほしいと思います。

・ 採用面接では、大学時代の専攻について必ずお聞きします。しかし、学んだ内容の説明に終始し、「それを社会でどう活かすか」という視点が欠けているケースが少なくありません。企業は、皆さんが学んだ知識や経験を、どのように社会や仕事に結びつけていけるかに大きな関心を持っています。だからこそ、学びの背景にある「目的」や「応用可能性」を自分なりに考え、言葉にできるようにしておくことが今後の強みになります。

・ 他大学の応募者と比べて、「自分の意見を臆せず伝える力」や「プレゼン時に相手の目を見て説得力ある説明をする力」が、やや弱いと感ずることがあります。ビジネスの場では、こうした力が自分の考えを伝え、周囲を動かすための重要なスキルとなります。

だからこそ、学生時代のゼミやグループワーク、プレゼンの機会などを通じて、自分の意見を言葉にして伝える経験を積んでほしいと思います。

・ ダイバーシティー&インクルージョンを進める弊社では、女性リーダーの登用も積極的に行っています。

学生の皆さんには是非、広い視野と高い視座をもち、ご自身のキャリアについて早い段階から考えを深めてもらえればと思います。

大学での学びはもちろん、サークル活動やアルバイトなど、さまざまな場面での経験が皆さんの強みになります。それぞれの場で目標を持ち、周囲を巻き込みながら、達成に向けて行動する経験は、社会に出てから必ず役立ちます。自分らしいリーダーシップを育むためにも、学生時代の一つひとつの挑戦を大切にしてください。

・ 素直さは社会で働く上では非常に大事な要素とは思いますが、在学時に、物事を多方面から考えられる思考の柔軟性や客観性を養えるような機会があれば、社会に出てからより視野が広がるように思います。

・ 社会の課題を自らの課題として捉えられる課題発見力や、物事を批判的・多面的に考える力、数字やデータに基づいて物事を考える力、自分の意見を論理的に相手にわかりやすく伝える力、適切な日本語を用いて論理的に文書を作成する力に加え、未知の問題に対しても、情報を基に仮説を立てて取り組める力があるとよいと思います。

自身についてよく深掘りできており、他人に自らを説明できる/然るべきタイミングでアピールできる力も身につけられるとよいと思います。

以上